

稲城市長 石川 良一 殿

(仮称)稲城市立中央図書館等整備運営事業に関する提案審査の結果、株式会社エヌ・ティ・ティ・データを代表企業とするグループ(第1グループ)を優秀提案として選定しましたので、次の通り報告します。

平成 16 年 8 月 6 日

(仮称)稲城市立中央図書館等整備運営事業に関する PFI 事業者選定審査委員会

審査委員

審査委員長	山内 弘隆
委員長職務代理	木野 修造
委員	上野 淳
委員	齋藤 泰則
委員	田村 静子
委員	渡辺 雅弘
委員	松尾澤幸恵
委員	守屋 安雄

（仮称）稲城市立中央図書館等整備運営事業

審査委員会報告

平成 16 年 8 月 6 日

（仮称）稲城市立中央図書館等整備運営事業に関する PFI 事業者選定審査委員会

《 目次 》

	page
1. 審査委員会.....	1
1.1. 審査委員会設置目的	1
1.2. 審査体制	1
2. 審査方法.....	1
2.1. 審査方法	1
2.2. 審査委員会開催経緯	3
2.3. 入札参加者.....	3
3. 審査結果.....	4
3.1. 審査結果の概要	4
3.2. 第一次審査結果	5
3.2.1 資格審査	5
3.2.2 内容審査	5
3.3. 第二次審査結果	13
3.3.1 入札価格の確認	13
3.3.2 基礎審査	14
3.3.3 内容審査	14
3.3.4 価格審査	39
3.3.5 総合評価	40

1. 審査委員会

1.1. 審査委員会設置目的

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 11 年法律第 117 号。以下「法」という。）第 6 条及び第 7 条の規定に基づき、（仮称）稲城市立中央図書館等整備運営事業（以下「本事業」という。）の特定事業の選定及び事業を実施する民間事業者（以下「PFI 事業者」という。）の選定等に関し、専門家の見地からの意見を聴取するため、（仮称）稲城市立中央図書館等整備運営事業に関する PFI 事業者選定審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置した。

1.2. 審査体制

審査委員会の委員は、学識経験者等の外部委員 5 名及び稲城市の職員 3 名、計 8 名で構成した。

審査委員

審査委員長	山内弘隆	（一橋大学大学院商学研究科教授）
委員長職務代理	木野修造	（木野建築設計事務所代表）
委員	上野 淳	（東京都立大学工学部建築学科教授）
委員	齋藤泰則	（玉川大学教育学部教育学科助教授）
委員	田村静子	（株式会社ライフエイドネクサスデザイン 代表取締役）
委員	渡辺雅弘	（稲城市助役）
委員	松尾澤幸恵	（稲城市教育委員会教育長）
委員	守屋安雄	（稲城市都市建設部参事）

2. 審査方法

2.1. 審査方法

審査の方法は、「落札者決定基準」に基づいて提案書の審査を行った。落札者の決定は、第一次審査及び第二次審査の 2 段階に分けて実施した。また、審査にあたっては応募者名を匿名とし、応募者番号のみが記載された審査資料に基づき審査した。

第一次審査

第一次審査は資格審査と内容審査を行う。

- ・ 資格審査は、応募者が参加資格要件を満たしているか否かを審査する。
- ・ 内容審査は、審査委員会において提案の内容についての審査を行う。審査方法は落札者決定基準に定められた採点基準に従い、審査委員全員の合議による審査を行う。

第二次審査

第二次審査は、基礎審査と内容審査、価格評価及び総合評価を行う。

- ・ 基礎審査は、提案書の内容が要求水準を満たしているか否かを審査する。
- ・ 内容審査 は、審査委員会において提案の内容についての審査を行う。審査方法は落札者決定基準に定められた採点基準に従い、審査委員全員の合議による審査を行う。
- ・ 価格評価は、提案価格を得点化する。
- ・ 総合評価は、内容審査 の得点と価格評価の得点の合計点により優秀提案の選定を行う。

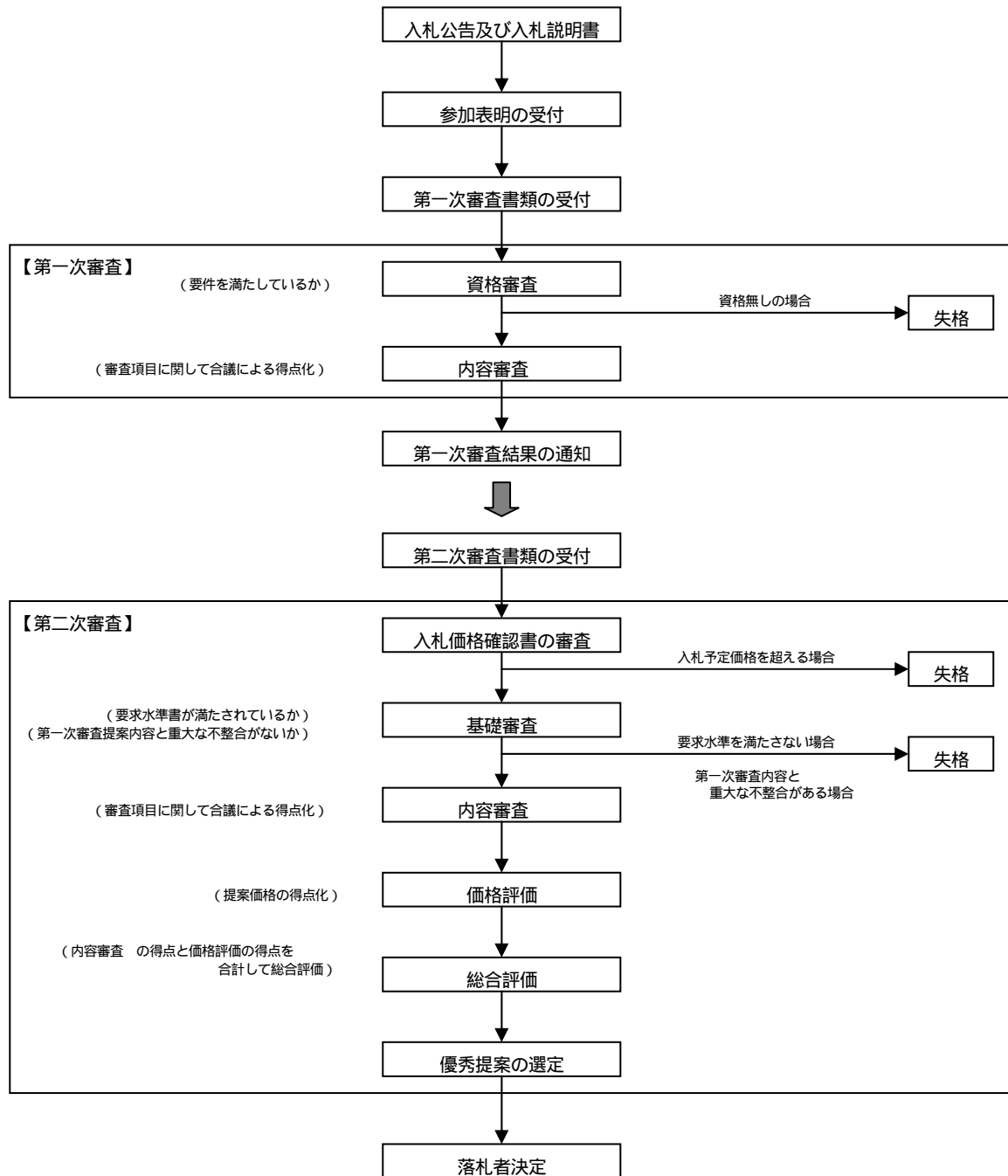


図 2-1 審査フロー

2.2. 審査委員会開催経緯

審査委員会は計6回開催した。各回の開催日及び内容は表 2-1 の通りである。

表 2-1 審査委員会経緯

回	開催日	内容
第1回	平成15年7月23日	実施方針(案)について 要求水準書(案)について 事業者選定スケジュールについて
第2回	平成15年9月3日	実施方針の公表について 特定事業の選定について 事業条件について 落札者決定基準について
第3回	平成15年11月18日	特定事業の選定について 落札者決定基準について 事業条件について
第4回	平成16年2月10日	第一次審査(内容審査)
第5回	平成16年4月22日	第二次審査に係る応募者ヒヤリング
第6回	平成16年5月13日	第二次審査(内容審査、価格評価)

2.3. 入札参加者

平成16年1月15日に本入札の参加表明を受け付けた結果、表 2-2 に示す5者の参加があった。なお、審査は匿名で行ったことから、以下、各応募者の名称を第1グループから第5グループと表現する。

表 2-2 入札参加者一覧

グループ名称	代表企業	構成員
第1グループ	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	株式会社日総建 株式会社熊谷組 株式会社エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ 金剛株式会社 株式会社有隣堂
第2グループ	株式会社大林組	株式会社梓設計 株式会社京王設備サービス 株式会社日販図書館サービス
第3グループ	丸善株式会社	株式会社松田平田設計 株式会社竹中工務店 太平ビルサービス株式会社
第4グループ	株式会社図書館流通センター	株式会社佐藤総合計画 鹿島建設株式会社 鉄建建設株式会社 株式会社ハリマビシステム
第5グループ	大和工商リース株式会社	株式会社日本設計 清水建設株式会社 株式会社紀伊國屋書店

3. 審査結果

3.1. 審査結果の概要

審査委員会は、第一次審査書類の提出のあった5者に対して第一次審査として資格審査及び内容審査を行い、これに合格した5者を対象に第二次審査を行った。第二次審査は、入札価格の確認の結果、入札予定価格を超えた第2グループを除く4者に対して基礎審査を行い、基礎審査に合格した4者に対して内容審査及び価格評価を行った。

以上の結果、総合評価の得点が最も高い第1グループの提案を優秀提案として選定した。

表 3-1 総合評価結果

項目	配点	第1グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ	備考
内容審査の得点合計	100.00	77.05	72.60	77.70	53.15	内容審査の詳細は3.3.3を参照
価格評価の得点	100.00	99.25	100.00	91.63	94.13	価格評価の詳細は3.3.4を参照
総合評価の得点(+)	200.00	176.30	172.60	169.33	147.28	
順位		1	2	3	4	

総評

本事業は、中央図書館と体験学習施設の設計、建設、維持管理及び図書館運営業務の一部を民間事業者より調達するものである。特に運営業務は幼児からお年寄りまで全ての市民への直接サービスを含むものであることから、運営重視型PFIという認識のもと、以下のポイントを重視して専門的見地から客観的に審査した。

- ・ 稲城市全体の図書館の将来像を見据えた中央図書館のあり方、多様化する市民ニーズへの対応、技術革新や図書館資料等の情報化にともなう最新技術の導入等を十分反映した提案であること。
- ・ 市民へのサービスの向上を図るために、その提案が斬新で柔軟な発想によるものか、サービスの向上効果がより期待されるものか、実現性のあるものか。

応募者の提案は、いずれも上記の視点を高いレベルで反映したものであり、稲城市が業務要求水準に提示したサービス水準を大きく上回るサービスの提供が安定的に行われると期待できた。

中でも第1グループ、第3グループ、第4グループの3者は内容審査において100点満点の7割以上を得点し、5点差以内の僅差という極めて高いレベルの接戦となった。各グループは、それぞれの構成員が有する得意分野と固有のノウハウにより、微妙な優劣はあるもののグループとしての総合力の発揮によりPFI方式ならではの相乗効果が現れていた。

3.2. 第一次審査結果

第一次審査は、応募者が本事業の遂行に必要な資力、経営能力、経験等を有することを確認する資格審査と、本事業に対する考え方等が、稲城市の意図するところと一致していることを確認する内容審査を行った。また、第一次審査は応募者の負担を軽減するために、応募者多数の場合に5者程度に絞り込むことを目的として設定したが、結果的に5者の参加となったことと、各応募者の提案内容がいずれも稲城市のニーズに十分応え、市民サービスの向上が十分に期待できるものと判断し、5者全てを合格とした。

3.2.1 資格審査

応募者が提出した入札参加資格審査申請書類をもとに、「落札者決定基準」（平成15年11月公表）表1に示す事項について審査した結果、5者全てが入札参加資格の基準を満たしていた。

3.2.2 内容審査

内容審査は、資格審査を通過した5者を対象として行った。

(1) 内容審査 結果一覧

審査結果の一覧は表3-2に示す通りである。

応募者数が5者であったこと、内容審査の得点が最高得点の50%未満の者がいなかったことにより5者全てを第一次審査の合格者とした。

表 3-2 内容審査 結果一覧

評価	(配点×%)	
A	100%	応募者独自提案であり、その効果に非常に大きな期待が出来る。
B	80%	提案の効果が大きな期待が出来る。
C	50%	提案の効果が期待出来る。
D	20%	提案の効果がやや期待出来る。
E	0%	提案の効果が期待出来ない。

審査項目	配点	第1グループ		第2グループ		第3グループ		第4グループ		第5グループ	
		評価	得点	評価	得点	評価	得点	評価	得点	評価	得点
本事業の基本的な考え方											
1 本事業の特徴について	5.00	B	4.00	B	4.00	B	4.00	B	4.00	B	4.00
2 公共図書館の展望、稲城市立中央図書館のあり方	5.00	B	4.00	C	2.50	B	4.00	B	4.00	B	4.00
3 取り組み方針	10.00	B	8.00	C	5.00	B	8.00	B	8.00	B	8.00
小 計	20.00		16.00		11.50		16.00		16.00		16.00
設計・建設に関する考え方											
1 施設の設計方針	10.00	B	8.00	C	5.00	B	8.00	C	5.00	B	8.00
2 図書館等の諸室機能構成	10.00	B	8.00	C	5.00	B	8.00	C	5.00	B	8.00
小 計	20.00		16.00		10.00		16.00		10.00		16.00
維持管理に関する考え方											
1 LCC最小化のための方策	10.00	C	5.00	C	5.00	B	8.00	C	5.00	B	8.00
小 計	10.00		5.00		5.00		8.00		5.00		8.00
運営に関する考え方											
1 図書館の運営への取り組み方針	10.00	B	8.00	C	5.00	B	8.00	B	8.00	B	8.00
2 運営体制の方針	10.00	A	10.00	D	2.00	B	8.00	C	5.00	A	10.00
3 図書館の特徴的サービスとして特に提案したいサービス	10.00	B	8.00	C	5.00	A	10.00	B	8.00	B	8.00
小 計	30.00		26.00		12.00		26.00		21.00		26.00
事業の安定性及びリスク分担の考え方											
1 事業の安定性確保のための方針	5.00	A	5.00	B	4.00	B	4.00	B	4.00	B	4.00
2 リスク対応の方針	5.00	B	4.00	B	4.00	A	5.00	B	4.00	B	4.00
小 計	10.00		9.00		8.00		9.00		8.00		8.00
付帯事業に関する考え方											
1 導入が適切と考える付帯事業	5.00	B	4.00	C	2.50	C	2.50	C	2.50	C	2.50
小 計	5.00		4.00		2.50		2.50		2.50		2.50
提案の整合性											
-	5.00	B	4.00	C	2.50	B	4.00	C	2.50	B	4.00
小 計	5.00		4.00		2.50		4.00		2.50		4.00
合 計	100.00		80.00		51.50		81.50		65.00		80.50
順 位	-		3		5		1		4		2

(2) 内容審査 各グループ講評

第1グループ

本事業の基本的な考え方

- ・ 市の提示したコンセプトが十分に理解されている。
- ・ 基本理念が明確に示されており、公共サービスの精神を重視する取り組みや PFI 導入によるサービス向上に向けた取り組みなどを高く評価した。
- ・ 予想される環境変化と公共図書館の展望、中央図書館のあり方が具体的に記述されている点を評価した。
- ・ 高い事業意欲が感じられる。

設計・建設に関する考え方

- ・ 環境への調和、バリアフリーへの対応等を目指す明確な方針が示されていることを評価した。
- ・ 配置計画において利用者・職員の立場から利便性、安全性、効率性、資料管理に関する配慮が示されていることを評価した。
- ・ 建物外部の回遊性や内部動線の明確化、図書館と体験学習施設の間に中庭を配置して施設の一体性と活動目的による機能分離を処理していることを評価した。

維持管理に関する考え方

- ・ 理念として、業務を高品質に効率的に行うことが明確にされている。
- ・ 維持管理の方針が ISO 等具体的な品質管理方法に基づくものであることなどの点について高く評価した。
- ・ LCC の低減についての提案が具体的に示されている点を評価した。

運営に関する考え方

- ・ 稲城市立図書館運営方針の理解やサービスの向上に関する取り組み方針が優れている。
- ・ 能力の高いスタッフ確保を高く評価した。
- ・ 市職員との協働体制の構築について意欲的な提案があった。
- ・ 各サービスについて充実したメニューの提案と、IC タグ、自動化書庫、自動貸出機等の導入によるサービス向上や効率化についての提案を評価した。

事業の安定性及びリスク分担の考え方

- ・ 得意分野の異なる 2 社による JV 運営体制、維持管理を行う会社が施設設計を行うなど、安定性の高い、品質の良い提案が期待できると評価した。
- ・ 十分なリザーブ資金を確保することや事業終了時まで配当を留保すること等によるリスク対応について優れている。
- ・ モニタリングに関する組織づくりに独自性が見られた。

付帯事業に関する考え方

- ・ 利用者の利便性の向上に資する提案を評価した。

提案の整合性

- ・ 基本理念を基本方針や具体的な方策に展開し、提案書全体で一貫性が認められた。

第2グループ

本事業の基本的な考え方

- ・ 市の提示したコンセプトが十分に理解されている。
- ・ 公共図書館の展望に関する具体的な記述が無い。
- ・ “ 稲城らしさ ” を提唱しているが、具体的な表現がないため理解しにくかった。
- ・ 市との良好なパートナーシップと安定した業務運営体制に関する方針について評価した。

設計・建設に関する考え方

- ・ 基本方針の提案内容については審査の視点項目を網羅的に記述されており評価できるが、文章を補足する図等が無くイメージしにくかった。
- ・ 諸室構成に関して利用者に対する細かな配慮がなされている。
- ・ 図書館と体験学習施設を1階、2階レベルで連絡できる通路を設置して一体的な利用を高める点について評価した。

維持管理に関する考え方

- ・ 維持管理企業が本施設近隣地域であり、緊急対応可能な体制であることを評価した。
- ・ 自然エネルギーや省エネ設備導入などの取り組みを評価した。

運営に関する考え方

- ・ 基本的な考え方において “ 稲城らしさ ” を提唱しているが、具体的な表現がないため理解しにくかった。
- ・ IC カードや携帯電話からの検索・予約システムなど先進技術の積極的導入によるサービス向上の提案を評価した。
- ・ 運営体制の構築やスタッフの経験・資格などに関する事項について理念は評価できるものの方針に具体性が不足している。
- ・ 市民サービスの向上の視点と具体的なサービスメニューが示されている。

事業の安定性及びリスク分担の考え方

- ・ キャッシュフローの安定性の確保、バックアップサービスの確保について評価した。

- ・ ヘルプデスクが体制図に表現されておらず、役割が不明確であった。
- ・ リスクの予防保全に関する具体的な方針を評価した。

付帯事業に関する考え方

- ・ 利用者の利便性の向上に資する提案が期待できることを評価した。

提案の整合性

- ・ 提案書全体で一貫性が認められた。

第3グループ

本事業の基本的な考え方

- ・ 市の提示したコンセプトが十分に理解されている。
- ・ 公共図書館の展望や中央図書館のあり方に関して、十分な知見と理解が示されている
- ・ 取り組み方針において図書館経営の視点から社会の変化への対応が示されており優れている。
- ・ 図書館運営企業が代表企業として積極的に取り組む姿勢を評価した。

設計・建設に関する考え方

- ・ 設計方針において立地特性、利用者の視点、滞在型の特質、空間形成について工夫と魅力があり評価した。
- ・ 諸室機能構成においてフレキシビリティ、バリアフリー等への対応を目指す明確な方針が示されていることを評価した。
- ・ 空間構成の概念図により景観、回遊性、機能配置が分かりやすく表現されており、施設計画に工夫がみられる。

維持管理に関する考え方

- ・ サステナビリティから展開する理念や方針が明確かつ具体的であり、大きな効果が期待できる。
- ・ 自然エネルギーや省エネ設備導入などの取り組みを評価した。

運営に関する考え方

- ・ 取り組み方針において市民ニーズの変化への対応に重点が置かれ、図書館経営品質の確保のための方策が明確に示されている点を評価した。
- ・ 接遇、選書に関する企業のノウハウ発揮が示されている点を評価した。
- ・ 運営体制や教育体制の提案については高く評価できるが、司書有資格者の割合については高い水準ではないと評価した。
- ・ 各種サービスについて、具体的な提案が示されており水準の高いサービスが期待できる。コンシェルジェ、備品貸出、Eメールを活用したサービスなど独自性も評価した。

事業の安定性及びリスク分担の考え方

- ・ 業務責任体制と、情報の一元化に関する体制が明確である。
- ・ 十分なキャッシュリザーブ、株主融資、SPC 株主による信用補完、バックアップ体制の構築などリスク対応に関する提案について評価した。
- ・ ヘルプデスクが体制図に表現されておらず、役割が不明確であった。
- ・ リスク毎の対応方針が明確に示されている点を高く評価した。

付帯事業に関する考え方

- ・ 利用者の利便性の向上に資する提案を評価した。
- ・ 継続性に関する有効な記述が無かった。

提案の整合性

- ・ 基本理念、基本方針、具体的な方針展開が示され、提案書全体で一貫性が認められた。

第4グループ

本事業の基本的な考え方

- ・ 市の提示したコンセプトが十分に理解されている。
- ・ 公共図書館の展望や中央図書館のあり方に関して、十分な知見と理解が示されている
- ・ 取り組み方針において利用者のニーズを最大限に反映する姿勢が示されており評価した。
- ・ 効率的な職員配置やICタグ等の先進技術の導入によるサービス向上や財政負担の軽減が示されている点を評価した。
- ・ 図書館運営企業が代表企業として積極的に取り組む姿勢を評価した。

設計・建設に関する考え方

- ・ 設計方針において、立地環境を踏まえ快適な滞在型施設の考え方、自然環境への配慮について評価した。
- ・ 利用者スペースを1フロアに配置してバリアフリーに配慮した点を評価した。
- ・ 施設配置の考え方において街に開いた施設配置提案、安全なアプローチへの提案など、工夫と独自性のある提案を評価した。
- ・ 利用者と管理者の動線分離、自由度の高い施設計画、眺望や日当たりへの配慮など、利用者や管理者に対する具体的配慮を評価した。
- ・ 空間構成を示す概念図等がなく、文章表現にとどまった点で理解しにくかった。

維持管理に関する考え方

- ・ 予防保全を基本とした理念を評価した。

- ・ 自然エネルギーの活用によるランニングコスト縮減の提案、消費エネルギー管理システムの提案を評価した。

運営に関する考え方

- ・ 取り組み方針において運営企業の数多くの実績・経験を活かしてニーズ対応することが示されており評価した。
- ・ 自動化書庫、IC タグなどの先進技術の導入によるサービス向上、効率化の提案を評価した。
- ・ スタッフの能力向上に関する具体的な取り組みは評価できるが、資格や経験について要求水準を超える提案が見られなかった。
- ・ 各サービスに関する独自提案によるサービス向上が具体的に示されており高く評価した。特に学校図書館に対するマーク提供、体験学習施設との連携サービス、有料のオンラインデータベース提供などは独自性が高い。

事業の安定性及びリスク分担の考え方

- ・ 運営企業を代表企業として、構成員である建設会社がマネジメント業務を行うという連携体制を評価した。
- ・ 事業期間内の配当留保、リザーブ資金の確保、バックアップ体制の構築、保険などのリスク管理に関する提案を高く評価した。

付帯事業に関する考え方

- ・ 利用者の利便性の向上に資する提案が期待できるが、第一次審査の段階では不確定な提案であった。

提案の整合性

- ・ 提案書全体で一貫性と整合性が認められた。

第5グループ

本事業の基本的な考え方

- ・ 市の提示したコンセプトが十分に理解されている。
- ・ 公共図書館の展望や中央図書館のあり方に関して、魅力的なコンセプト提案が示されている
- ・ 取り組み方針において市民の視点、利用者満足度を重視する姿勢が示されており評価した。
- ・ プロジェクトマネジメント能力の高い代表企業が全体統括し、実績豊富な構成企業で構成するコンソーシアム構成を評価した。
- ・ 実施体制に分野横断的な協議体制を提案。

設計・建設に関する考え方

- ・ 設計方針において、積極的な屋上緑化や1フロア構成によるバリアフリー提

案、円形交流広場を中心とした空間構成について独自性があり評価した。

- ・ 低書架、ICタグ、自動化書庫等の利用者サービス向上の提案を評価した。
- ・ 駐車場を地上部に必要台数を確保するほか、地下に一部を配置することについては利便性の面で疑問との意見があった。
- ・ 南側法面から施設屋上へ直接アプローチする動線が確保されていることを評価した。

維持管理に関する考え方

- ・ 屋上緑化による熱負荷抑制や自然エネルギーの活用によるランニングコスト縮減の提案の積極的な提案を評価した。
- ・ ファシリティマネジメントによる予防保全、品質確保を評価した。
- ・ 緊急時対応についての連絡・管理体制の提案を評価した。

運営に関する考え方

- ・ 取り組み方針において市民本位の図書館を構築するための方策が展開されており評価した。
- ・ ICタグ、自動化書庫の採用などサービス向上に資する独自提案は評価できるが、配架においてテーマ別表記の導入については本施設の規模から相応しくないのではないか、との意見があった。
- ・ 全人員が司書有資格者を原則とする提案を高く評価した。
- ・ 電子掲示板を活用した連絡体制や企業内のサポートセンターによるサポートなど独自提案を評価した。
- ・ 駅構内、店舗内の返却ボックス設置、ネットライブラリーの充実については評価するが、店舗での選書ツアーについては評価できない。

事業の安定性及びリスク分担の考え方

- ・ 株主・スポンサー等の追加出資、配当一部積立、バックアップ体制の構築、保険などのリスク管理に関する提案を高く評価した。
- ・ リスク管理に関する組織を常設し、事前予防、再発防体制を構築する提案を評価した。

付帯事業に関する考え方

- ・ 利用者の利便性の向上に資する提案が期待できるが、第一次審査の段階では不確定な提案であった。

提案の整合性

- ・ 提案書全体で一貫性と整合性が認められた。

3.3. 第二次審査結果

第二次審査書類は平成 16 年 4 月 1 日に受け付け、第一次審査に合格した 5 者より提出があった。第二次審査の結果は以下の通りである。

3.3.1 入札価格の確認

5 者の入札価格（消費税及び地方消費税を含まない）の確認結果は表 3-3 の通りである。

市が本入札にあたって予め設定した入札予定価格を第 2 グループが超過していたため、当該グループを失格とした。

次に、入札価格のうち、サービス対価 A（設計、建設に関する対価）については入札説明書において上限を提示しており、これに対する確認を 4 者に対して行った結果、表 3-3 に示す通り、いずれも合格であった。

表 3-3 入札価格確認結果

グループ名	入札価格	判定
入札予定価格	4,857,142,857 円	-
第 1 グループ	3,892,233,000 円	合格
第 2 グループ	4,866,590,000 円	失格
第 3 グループ	3,963,788,494 円	合格
第 4 グループ	4,496,418,419 円	合格
第 5 グループ	4,297,173,508 円	合格

上記金額には消費税及び地方消費税を含まない。

表 3-4 サービス対価 A の確認結果

グループ名	サービス対価 A	判定
サービス対価 A の上限額	1,746,000,000 円	-
第 1 グループ	1,184,255,000 円	合格
第 3 グループ	964,555,000 円	合格
第 4 グループ	1,466,401,160 円	合格
第 5 グループ	1,355,299,600 円	合格

上記金額には消費税及び地方消費税を含まない。

3.3.2 基礎審査

基礎審査は、入札価格の確認において合格した4者を対象に行った。

応募者から提出された提案書類の各様式に記載された内容が、入札説明書及び要求水準書に示す要件を全て満たしているか否かを審査した結果、4者のいずれも条件を満たしていた。

また、第一次審査時の提案内容と整合するものであるかどうかを確認した結果、重大な不整合は認められなかったため、4者を合格とした。

3.3.3 内容審査

内容審査は、基礎審査を合格した4者を対象に行った。また、内容審査を行うにあたり、審査委員が提案書の理解を深めるためにヒヤリング（応募者によるプレゼンテーション及び質疑応答）を行った。

(1) 内容審査 結果一覧

審査結果の一覧は表 3-5 に示す通りである。

表 3-5 内容審査 結果一覧

評価	(配点×%)	
A	100%	応募者独自提案であり、その効果に非常に大きな期待が出来る。
B	80%	提案の効果に大きな期待が出来る。
C	50%	提案の効果期待出来る。
D	20%	提案の効果やや期待出来る。
E	0%	提案の効果期待出来ない。

表中、評価段階欄に(5)とある項目はA・B・C・D・Eの5段階評価、(3)とある項目はA・C・Eの3段階評価とした。

審査項目	配点	評価 段階	第1グループ		第3グループ		第4グループ		第5グループ		
			評価	得点	評価	得点	評価	得点	評価	得点	
事業の総合計画											
1 本事業の基本的な考え方	4.00	(5)	B	3.20	B	3.20	B	3.20	C	2.00	
2 事業実施体制	1.00	(3)	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.50	
小計	5.00			4.20		4.20		4.20		2.50	
設計・建設計画											
1 設計・建設業務に関する基本的な考え方	3.00	(5)	C	1.50	C	1.50	B	2.40	B	2.40	
2 業務実施体制	1.00	(3)	A	1.00	C	0.50	A	1.00	C	0.50	
3 設計・建設業務計画	1.50	(5)	B	1.20	C	0.75	B	1.20	C	0.75	
4 施設計画(概要と特徴)	2.50	(5)	B	2.00	C	1.25	B	2.00	B	2.00	
5 施設計画(建築 計画)	a.配置計画・外構計画(案)	4.00	(5)	C	2.00	B	3.20	B	3.20	C	2.00
	b.諸室計画	6.00	(5)	B	4.80	C	3.00	B	4.80	C	3.00
	c.建築仕様	4.00	(5)	B	3.20	B	3.20	B	3.20	B	3.20
6 施設計画(構造計画)	1.00	(3)	C	0.50	C	0.50	C	0.50	C	0.50	
7 施設計画(設備計画)	2.00	(5)	C	1.00	B	1.60	B	1.60	B	1.60	
8 施設計画(閉架書架計画)	1.00	(3)	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.50	
9 備品計画	3.00	(5)	C	1.50	C	1.50	C	1.50	C	1.50	
10 AV機器整備計画	1.00	(3)	A	1.00	C	0.50	A	1.00	C	0.50	
小計	30.00			20.70		18.50		23.40		18.45	
維持管理計画											
1 維持管理に関する基本的な考え方	2.00	(5)	B	1.60	B	1.60	B	1.60	C	1.00	
2 業務実施体制	1.00	(3)	A	1.00	C	0.50	C	0.50	C	0.50	
3 建築物維持管理業 務,備品保守管理業務	a.保全業務	1.00	(3)	A	1.00	C	0.50	C	0.50	C	0.50
	b.修繕業務	3.00	(5)	B	2.40	B	2.40	B	2.40	B	2.40
4 清掃業務	1.00	(3)	A	1.00	C	0.50	A	1.00	C	0.50	
5 警備業務	2.00	(5)	B	1.60	C	1.00	B	1.60	C	1.00	
小計	10.00			8.60		6.50		7.60		5.90	

審査項目	配点	評価 段階	第1グループ		第3グループ		第4グループ		第5グループ		
			評価	得点	評価	得点	評価	得点	評価	得点	
運営計画											
1 運営に関する基本的な考え方	3.00	(5)	B	2.40	B	2.40	B	2.40	D	0.60	
2 業務実施体制	2.00	(5)	B	1.60	C	1.00	B	1.60	D	0.40	
3 運営スタッフに関する事項	6.00	(5)	B	4.80	B	4.80	B	4.80	C	3.00	
4 図書館の特徴的サービス	3.00	(5)	B	2.40	B	2.40	B	2.40	C	1.50	
5 開館準備業務	0.50	(3)	C	0.25	C	0.25	A	0.50	A	0.50	
6 広報活動	1.00	(3)	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.50	
7 図書館情報システム	a.特徴、機能	4.00	(5)	B	3.20	B	3.20	B	3.20	C	2.00
	b.運用	1.50	(3)	C	0.75	C	0.75	C	0.75	C	0.75
8 サービスの総合計画	a.利用者ニーズ	2.00	(5)	B	1.60	B	1.60	B	1.60	C	1.00
	b.特徴的サービス	1.00	(3)	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.50
9 各種サービス	a.一般サービス	2.00	(5)	B	1.60	B	1.60	B	1.60	C	1.00
	b.レファレンスサービス	2.00	(5)	B	1.60	B	1.60	B	1.60	C	1.00
	c.児童サービス	2.00	(5)	B	1.60	B	1.60	B	1.60	C	1.00
	d.ヤングアダルトサービス	0.50	(3)	A	0.50	A	0.50	A	0.50	C	0.25
	e.学校支援サービス	1.00	(3)	C	0.50	C	0.50	A	1.00	C	0.50
	f.高齢者サービス	0.50	(3)	C	0.25	C	0.25	C	0.25	C	0.25
	g.外国人サービス	0.50	(3)	A	0.50	A	0.50	C	0.25	C	0.25
	h.障害者サービス	1.00	(3)	C	0.50	A	1.00	C	0.50	C	0.50
	i.病院配本所へのサービス	0.50	(3)	A	0.50	C	0.25	C	0.25	E	0.00
10 資料管理	a.選定から装備	3.00	(5)	B	2.40	B	2.40	C	1.50	C	1.50
	b.管理	1.00	(5)	B	0.80	A	1.00	B	0.80	C	0.50
	c.盗難防止	1.00	(3)	A	1.00	A	1.00	A	1.00	C	0.50
11 喫茶室運営	1.00	(5)	B	0.80	B	0.80	A	1.00	D	0.20	
小計	40.00			31.55		31.40		31.10		18.20	
事業計画											
1 事業の安定性及び事業実施の確実性	3.00	(5)	B	2.40	B	2.40	B	2.40	C	1.50	
2 リスクへの対応策	5.00	(5)	B	4.00	B	4.00	B	4.00	C	2.50	
3 モニタリング	2.00	(5)	B	1.60	B	1.60	B	1.60	C	1.00	
小計	10.00			8.00		8.00		8.00		5.00	

審査項目	配点	評価 段階	第1グループ		第3グループ		第4グループ		第5グループ	
			評価	得点	評価	得点	評価	得点	評価	得点
付帯事業計画										
1 付帯事業計画	2.00	(5)	B	1.60	B	1.60	C	1.00	B	1.60
小計	2.00			1.60		1.60		1.00		1.60
提案内容の整合性										
-	3.00	(5)	B	2.40	B	2.40	B	2.40	C	1.50
小計	3.00			2.40		2.40		2.40		1.50
内容審査 の得点合計	100.00			77.05		72.60		77.70		53.15

(2) 内容審査 各グループ講評

第1グループ

事業の総合計画

- ・ 基本理念が明確に示されており、公共サービスの精神を重視する取り組みや PFI 導入によるサービス向上に向けた取り組みなどを高く評価した。
- ・ 基本方針において品質管理や LCC 低減に向けた方策が具体的に記述されている点を評価した。
- ・ 要求水準を超える提案としてスタッフの資格・経験、先進技術の導入によるサービス向上と効率化等多くの優れたものがあった。
- ・ 格付けの高い代表企業が資本面、運營業務 JV の代表として全体をマネジメントする体制を評価した。
- ・ 運營業務の JV 体制による連帯責任方式やリスクマネジメントの効果が期待できる。
- ・ 高い事業意欲が感じられる。

設計・建設計画

a. 基本的な考え方

- ・ 設計、建設において重視するポイントが多面的で優れた提案があった。

b. 業務実施体制

- ・ 設計段階、建設段階において全ての構成員と外部有識者により構成される確認組織により品質管理することを評価した。
- ・ 情報技術により工事進捗状況を市もチェックできる仕組みづくりの提案を評価した。

c. 設計・建設業務計画

- ・ 建設工事の竣工時期に余裕がある。
- ・ 工事中の騒音、振動、景観への配慮が高いレベルでなされていると評価した。

d. 施設計画（建築計画）

配置計画

- ・ 平屋建てによるバリアフリー動線、広場を介して体験学習施設と接続する配置は評価できる。
- ・ 外観は幾何学的なシンプルなデザインで、図書館部分の軸が振られていることでダイナミックな造形。
- ・ 南側歩道橋からのアプローチ動線が無い。
- ・ 駐車場は要求水準を上回る台数であり、安全性や利便性への配慮を評価した。歩車分離や快適な歩行空間なども考慮されている。

諸室計画

- ・ 管理ゾーンと利用者ゾーンを内部のメイン動線を介して明確に分離しており、利用者・管理者の利便性が高い。
- ・ ロングスパンと高い天井高による開架スペースのオープンな空間確保を

評価した。

- ・ 体験学習室側の BDS の設置場所については、今後調整が必要。
- ・ BDS 区域を考慮しつつオープンカフェ、読書テラス、児童用テラスなど外部空間を積極的に取り込んでいる。BDS 区域内でも喫茶が可能な工夫が良い。
- ・ 事務作業室は、機能的で望ましい。
- ・ 利便性、快適性に良く配慮されており、配置計画全体として高く評価できる。

建築仕様

- ・ 床仕上げにおいて、開架ゾーンは音を考慮、管理部分は耐久性やメンテナンスを考慮、おはなし室や喫茶は快適性を重視するなど多くの配慮が評価できる。
- ・ 安全性、環境負荷への対応が高いレベルで配慮されている。
- ・ サイン計画はわかりやすさ、更新・増設への配慮がなされている。図書の配架位置を表示するシステムと OPAC との連動による視覚的な資料位置表示は画期的であり高く評価できる。

e. 施設計画（構造計画）

- ・ ロングスパンによる大空間確保を評価した。
- ・ 体験学習施設のフレキシビリティにも配慮されている。

f. 施設計画（設備計画）

- ・ 各設備に関して快適性、メンテナンス性、光熱水費低減方策が提案されており、一定の効果が期待できる。

g. 施設計画（閉架書庫計画）

- ・ 自動化書庫による利用者サービス向上、スペース・運営の効率化を高く評価した。
- ・ 本グループの提案する形式は設置の精度が高く求められる。

h. 備品計画

- ・ 要求水準を超える椅子数の提案や、書架や椅子に木の素材や安全性を配慮した点、椅子座面にファブリックを用いて快適性を確保した点が高く評価できる。
- ・ カウンターは分離型で利用者への対応の面で評価できる。
- ・ 一般開架の6段書架は高く、特に車イス利用者は届かない点の指摘があった。
- ・ 体験学習施設の備品に快適性、収納性、耐久性等が考慮されている。

i. AV 機器整備計画

- ・ プライバシーと快適性を考慮したブース形式は高く評価できる。利用者が直接機器に触れない故障対策や不正利用対策も考慮されている。

維持管理計画

a. 基本的な考え方

- ・ 品質管理、スキルアップ、LCC の最小化、予防保全に関する方針が明確にされている。また、光熱水費削減施策の随時提案があることを評価した。
- ・ 利用者の健康保持、維持管理データの管理、ヘルプデスクのサポート方法などが示されている点を評価した。

b. 業務実施体制

- ・ ヘルプデスク機能を中心とした情報一元化、責任体制が明確であり、維持管理の統括責任者には維持管理に関する資格者を配置するなどの点を高く評価した。

c. 建築物保守、備品保守管理業務

- ・ 維持管理職員のスキルアップに関する提案があった。
- ・ 保全作業は利用者の妨げにならないよう配慮されている。
- ・ 備品管理に優れた提案があった。
- ・ 修繕計画の見直し、事業終了時の対応に優れた提案があった。

d. 清掃業務

- ・ 光触媒ガラスの導入による窓清掃回数の効率化の提案があった。
- ・ 清掃職員のスキル・マナーアップ、利用者の妨げにならない清掃時間の提案が優れている。

e. 警備業務

- ・ スタッフによる事件・事故の未然防止意識向上や防犯カメラ設置の提案が優位に評価された。

運営計画

a. 基本的な考え方

- ・ 運営スタッフは利用者とのふれあいを重視する方針、中央館のリーダーシップの概念について評価した。
- ・ IC タグ導入による効率化を開館日数の増加として大きくサービス向上させた提案が高く評価できる。

b. 業務実施体制

- ・ 稲城の図書館全体のサービス向上の視点がある。
- ・ 業務ごとの会議が市職員を含めた形になっており、協同を意識している。
- ・ スタッフの資格、経験等のレベルが高い水準であり、研修制度、インセンティブ付与も充実している。

c. 図書館の特徴的サービス

- ・ 図書の配架位置を表示するシステム導入によるサービス向上は評価できる。
- ・ 開館日数を増加することは大きなサービス向上である。

- d. 開館準備業務
 - ・ システム設計の開始時期が適切。
- e. 広報活動
 - ・ ホームページ作成において豊富なコンテンツ、誰にでも伝わる仕組み、携帯電話に対応するなどの点が優れている。
- f. 図書館情報システム
 - ・ IC タグ、図書の配架位置を表示するシステム等先進技術導入による優れたサービス向上の提案が評価できる。
 - ・ セキュリティーに対する取り組み姿勢とシステム設計に優れた提案があった。
- g. サービスの総合計画
 - ・ 多様な方法による利用者ニーズ把握の提案があり、方針・把握の方法・反映のラインが優れている。
 - ・ 行事がテーマ別、対象別に提案されており、優れた工夫がみられる。
- h. 各種サービス
 - ・ 市民に気持ちよく利用してもらおうという視点がある。
 - ・ 市の方針を十分に理解した提案であり、実施方法が具体的かつ的確であり、質の高いサービス提供が期待できる。
 - ・ 児童サービスにおけるブックスタート・ユニバーサルサービス等において魅力的な提案がある。
 - ・ ヤングアダルトサービスにおいて多様なメニュー提案があり優れている。
 - ・ 外国人サービスにおいて、水準の高いスタッフ配置が提案されており、サービス向上が期待できる。
 - ・ 病院サービスにおいて特徴的なサービス提案があり、安全面への配慮も優れている。
- i. 資料管理
 - ・ 迅速で正確な配架に優れた提案があった。
 - ・ 資料選択に関する提案が無かった。
 - ・ IC タグによる迅速かつ正確な蔵書点検が期待できる。
 - ・ 盗難防止に有効なシステム導入が提案されている。
- j. 喫茶室業務
 - ・ メニューに地域色が盛り込まれている。
 - ・ 居心地・機能等にも配慮が見られる。

運営計画全体を通じて

提案全体を通して市の提示した方針・要求水準をよく理解し、それに沿ったサービスの提供を提案してきている。

スタッフの資格・開館日数等において要求水準を上回る提案があり評価できる。提案されたスタッフ人数で安定したサービスが提供できるかが議論となったが、サービスの安定性確保やリスク管理の提案にも優れたものがあり、全体

として水準の高い提案と評価できる。

市全体の図書館を視野にいたした提案で、中央図書館と分館で図書館サービスをしていくという姿勢がでている点も評価したい。

事業計画

a. 事業の安定性及び事業実施の確実性

- ・ 配当留保や財務基盤の強化、株主である構成員の長期的なコミットメントなど事業の安定性確保の方策が優れている。
- ・ モニタリングに関する組織づくりに独自性が見られた。

b. リスクへの対応策

- ・ 独自の保険付補の提案があり、リスク対応策に優れたものがある。
- ・ 資金調達方法が出資者の経営状態に影響しない点を評価した。

c. モニタリング

- ・ モニタリング項目や測定指標の具体的提示があり、サービス履行状況の確実な管理方法についても優れた提案があった。

付帯事業計画

- ・ 物販、備品貸出など利用者の利便性の向上に資する提案を評価した。
- ・ 堅い需要予測と柔軟性も考慮した提案であり、事業の安定性・継続性を評価した。

提案の整合性

- ・ 基本理念を基本方針や具体的な方策に展開し、提案書全体で高い一貫性が認められた。
- ・ 落札者決定基準に示した審査の視点毎に項目立てをした記述方法としており、全体として明確かつ簡潔な表現であった。

第1グループ総括

市の提示した方針を十分に理解し尊重したうえで、運営重視、利用者の視点を重視する理念で提案書全体をまとめており、多くのサービス向上の提案を含めた点が高く評価できる。

全国にも先駆けた先進技術を積極的に導入する点やコスト縮減の追求の点では、サービスの安定性を確保する方策やリスク管理の方策も具体的で優れていることを評価した。

施設、運営、事業計画のいずれも具体的かつ高い水準であり、総合的にバランスの取れた提案であった。

第3グループ

事業の総合計画

- ・ 基本理念が明確に示されており、経験・実績を活かした高い専門能力の発揮と、新技術・革新的な手法の積極的導入、市民重視の視点が示されている点を高く評価した。
- ・ 基本理念に基づく設計・建設、維持管理、運営、事業計画の方針が展開され、具体的な安定性、サービス向上、効率化の提案につながっている。
- ・ 高い事業意欲が感じられる。
- ・ 実施体制については運営会社が代表企業となり、建設企業、維持管理企業と一体となり全体マネジメントを行っていくものであり、出資バランスや相互バックアップ体制の提案も含め高く評価できる。

設計・建設計画

a. 基本的な考え方

- ・ 設計・建設の品質管理やプロセスに関する方針において優れた提案があった。
- ・ 設計への市民意見の反映の提案があったが、スケジュール面、方法に関する具体性が乏しく、実効性において疑問がある。

b. 業務実施体制

- ・ 設計・建設業務における実績豊富な構成員の全員参加の方針は評価できるが、協議調整体制と役割分担が具体的に示されておらずどのように実効されるかが不明確であった。

c. 設計・建設業務計画

- ・ 建設工事の竣工時期に余裕が少なく、外構工事の工期も不足する可能性がある。
- ・ 工事中の騒音、振動、景観への配慮が適切。

d. 施設計画（建築計画）

配置計画

- ・ 利用者フロアのほとんどを1層にまとめ、上下移動を無くすことでバリアフリーを実現していることが評価できる。
- ・ 地下に搬入口を設け、利用者との動線分離を図っているが、地階の図書館諸室との分離が図られておらず機能的に問題がある。
- ・ 図書館と体験学習施設を分棟としつつ一体的な造形とすることで一体感を創造しているのは良い。前面道路からのアプローチは利用者の快適性を考慮したもので良いが距離が長い。
- ・ 南側歩道橋からのアプローチ動線が無い。
- ・ 外構計画、駐車場計画は利便性、快適性、安全面への配慮において優れた提案となっている。駐車場の拡張性も優れている。
- ・ 外観デザインは周辺地形と呼応したシンプルでダイナミックなものである。

諸室計画

- ・ 傾斜屋根と開架スペースの無柱大空間、大きなガラス面によりフレキシビリティと開放的な空間を実現している。
- ・ レファレンス・地域資料コーナーは落ち着いた雰囲気で見やすい。
- ・ 児童開架スペースに隣接して新聞・雑誌コーナーがあるのは、騒音等を考えると望ましくない。
- ・ 工房テラスとテラスが隣接して連続性のある計画となっているのは望ましい。
- ・ 事務スペースが南側に配置されているのは好ましい。

建築仕様

- ・ 色彩計画に稲城市らしさや公園との連続性に配慮している。また、色彩によるゾーン区分など空間認識の方法に工夫がある。
- ・ 仕様材料等に環境と健康に対する配慮が十分なされており評価できる。
- ・ サイン計画や施設計画においてユニバーサルデザインに関して十分配慮されている。

e. 施設計画（構造計画）

- ・ 長大スパンによる大空間の確保を評価した。

f. 施設計画（設備計画）

- ・ 設備スペースに将来拡張を想定した予備スペースを確保している点を高く評価した。
- ・ 深夜電力の活用など光熱水費の低減に向けた具体的な提案が多く評価した。
- ・ 雨水利用に関する有効な提案を評価した。

g. 施設計画（閉架書庫計画）

- ・ 自動化書庫による効率化を高く評価した。
- ・ 書庫位置をレファレンスと関連づけた特徴的な提案を評価した。
- ・ 配架方法に工夫があり、利便性において評価した。

h. 備品計画

- ・ 中央の集中カウンター背後のスペースが狭隘。
- ・ 児童専用カウンターを設置したことは望ましい。また児童コーナーの対象者に応じたカウンター高さの配慮は特徴的だが必要性については疑問。
- ・ 環境や健康面に十分配慮している点を評価した。

i. AV 機器整備計画

- ・ 実績を考慮した安定性を重視している。
- ・ 将来展望の記述はあるが、現時点で慎重なシステム選定であった。

維持管理計画

a. 基本的な考え方

- ・ 業務を支障なく効率的に行うために多段階モニタリングを行う点を評価した。
- ・ LCC最小化のための方策においてエネルギー管理手法を導入すること

を評価した。

b. 業務実施体制

- ・ 非常事態への対応において優れた実施体制がある。

c. 建築物保守、備品保守管理業務

- ・ 図書館特有の使用状況、劣化状況を考慮し維持管理周期を適切に見直す提案を評価した。
- ・ 維持管理スタッフの教育の提案があることを評価した。
- ・ 利用者に配慮した保守管理業務の実施時間を評価した。
- ・ 点検頻度に関して具体的な記述が無かった。
- ・ 50年間の長期的視野に立った修繕計画の立案、更新の提案があることを評価した。
- ・ セルフモニタリングに第三者評価を行う点を評価した。

d. 清掃業務

- ・ 清潔感・作業態度・接遇マナーを重視し、清掃業務マニュアル・スタッフ教育があることを評価した。
- ・ 清掃以外にも気を配り維持管理業務全体効率を高めることを評価した。
- ・ 利用者に配慮した清掃時間の提案があった。

e. 警備業務

- ・ ヘルプデスクに警備に関する対策チームが設置されている点を評価した。
- ・ 日常業務における犯罪予防方策に優れた提案があった。

運営計画

a. 基本的な考え方

- ・ 利用者満足度の向上のための基本的な考え方について優れた提案があった。
- ・ 効率的なスタッフ配置や先進技術の導入による効率性向上に関する優れた提案があった。

b. 業務実施体制

- ・ 適切なスタッフ配置、人的支援の手厚さについて高く評価できる。
- ・ 会議が市職員を含めた形になっておらず、市との協働の視点において評価できない。
- ・ 指揮命令系統・業務分担が明確である。
- ・ スタッフ能力について高い水準が期待できる。
- ・ 開館時のスタッフ研修計画・継続的な研修計画が優れている。
- ・ スタッフの資格取得や自己目標達成度に応じたインセンティブ報酬の提案を評価した。

c. 図書館の特徴的サービス

- ・ 先進的な電子図書館実現への取り組みは高く評価できるが、著作権等の関係から実現性に課題があると評価した。
- ・ ITを最大限活用しつつ、利用者の居心地を重視する提案がなされており、バランスが良い。

d. 開館準備業務

- ・ スタッフ研修の開始時期が早い点が評価できる。
- ・ 図書館情報システム設計の開始時期について市と調整する期間が不足していると思われる。

e. 広報活動

- ・ 図書館情報システムとリンクしたホームページ機能は高く評価できるが、提案されたデータベースの構築とその公開において課題がある。
- ・ 豊富なコンテンツの提案を評価するが、市民交流機能については運用上の課題が多く、実効性が期待できない。

f. 図書館情報システム

- ・ セキュリティやプライバシーに配慮したシステム計画となっており評価した。
- ・ IC タグと連動した効率化、市民サービスの向上を評価した。

g. サービスの総合計画

- ・ 多様な方法による利用者ニーズ把握の提案があり評価できるが、実現に向けた具体性が若干乏しい。
- ・ 行事の企画は対象者別に工夫されており、具体性もあり高く評価できる。

h. 各種サービス

- ・ 市民に気持ちよく利用してもらおうという視点を評価した。
- ・ 資格所有者や経験者が適切に配置されている。
- ・ 貸出・返却業務においてプライバシー保護の細かな配慮があり優れている。
- ・ 各サービスの配慮事項、提案内容が利用者の視点に基づいて提案されており、具体性もあり優れている。
- ・ 児童資料について細かな配慮がなされており優れているが、児童資料の配架方法において有効性が感じられなかった。
- ・ ヤングアダルトサービスに多様なメニュー提案があり優れている。
- ・ 外国人サービスの多様かつ有効なメニュー提案があり優れている。
- ・ 障害者サービスの多様かつ有効なメニュー提案がある。スタッフ対応の具体的提案もあり優れている。

i. 資料管理

- ・ 資料選択についての具体的な提案があり優れている。
- ・ 図書館情報システムと発注システムの連携について可能としている点が、システム上の課題をクリアしてからという提案で作業効率だけでない点がよい。
- ・ 運営企業の持つデータ等の資産とノウハウの裏付けがうかがえる。
- ・ 日常の書架の整理・整頓の意識が高く具体的であり特に優れている。
- ・ IC タグによる効率的な蔵書管理が見込まれる。
- ・ 盗難防止に有効なシステム導入が提案されている。

j. 喫茶室業務

- ・ メニューに独自性、魅力がある。
- ・ 居心地・機能等にも配慮。

運営計画全体を通じて

全事業に対し、市の方針を踏まえたうえでの高い水準の提案が多い。運営企業の蓄積やノウハウが、市の求める方向で提案されている。

また、利用者の立場を重視した運営で、最新の機器を配置しているが、人によるサービスを重視している点が評価される。

事業全体のバランスもよかったが、市の図書館全体をレベルアップするという視点がほとんどないのが残念。

事業計画

a. 事業の安定性及び事業実施の確実性

- ・ 経営のバランスと相互チェック機能が働くよう考慮されており優れている。
- ・ リース企業による財務チェック機能は評価できる。
- ・ 指揮命令系統が明確。

b. リスクへの対応策

- ・ 開館後5年間の資金需要を予備費と劣後融資の金利減免で対応している。
- ・ 運転資金を予備費として調達している。
- ・ 資金管理の方法が優れている。
- ・ バックアップ企業の用意。
- ・ 業務履行能力の低下への対応方策が具体的で優れている。
- ・ 積立金の設定根拠が適切である。
- ・ SPC が保有するリスク、起因者が特定できないリスクについての対応に多様性があり優れている。

c. モニタリング

- ・ ヘルプデスクを中心としたモニタリング実施体制のほか、第三者によるチェック体制もあり優れている。

付帯事業計画

- ・ 物販、書籍に関するサービス、宅配、運営事業者独自のサービスなど利用者の利便性の向上に資する提案を評価した。
- ・ 各々の事業規模が小さく、初期投資も少ないことから柔軟に対応できると判断できる。

提案の整合性

- ・ 基本理念を基本方針や具体的な方策に展開し、提案書全体で高い一貫性が認められた。

第3グループ総括

市の提示した方針を十分に理解し尊重したうえで、運営重視、利用者の視点を重視する理念で提案書全体をまとめており、多くのサービス向上の提案を含めた点が高く評価できる。

先進技術の積極的導入による効率化とスタッフによる対面サービス重視の両側面を高いレベルで提案されている。特に運営面では高く評価できる。

施設面では、大空間による開放感とフレキシビリティの確保が特徴的で、滞在型図書館としての居心地、環境整備の面を重視したコンセプトは評価できるが、その居心地のよさを施設計画として十分感じられなかった。

全体としては高い水準であり、バランスの取れた提案であった。

第4グループ

事業の総合計画

- ・ 基本理念が明確に示されており、新しい図書館像への取り組みや官民パートナーシップにおける民間の責任の視点が示されている点を高く評価した。
- ・ 公共図書館の運営実績の豊富な運営企業を代表企業として運営重視の事業に取り組む高い事業意欲が感じられる。
- ・ IC タグ、自動化書庫、先進的な AV システム等、最新技術導入により付加価値の高いサービス提供を行う点を評価した。
- ・ 中央館として全市的なサービス向上を意識している。
- ・ 建設会社がプロジェクトマネジメントを行い、事業の安定性を高める工夫をしている。また、構成員全てが一定以上の出資を行うことや外部機関によるモニタリングを実施するなど事業の安定性を高める優れた実施体制を構築している。

設計・建設計画

a. 基本的な考え方

- ・ 設計・建設段階における事業者と市との情報共有に関して優れた提案がある。市民や市の意向反映に対して意識が高い。

b. 業務実施体制

- ・ 設計担当企業の体制と各構成員との連携体制が優れている。
- ・ 図書館設計実績担当者が適切に配置されている。

c. 設計・建設業務計画

- ・ 設計開始・完了時期に余裕があり優れている。
- ・ 建設工事、外構工事の工期に余裕があり優れている。
- ・ 工事中の周辺環境への配慮、市民へ配慮が適切。

d. 施設計画（建築計画）

配置計画

- ・ 図書館の利用者空間を1層にまとめ、上下移動を無くすことでバリアフリーを実現。さらに利用者空間は柱のない高い天井高を確保していることが評価できる。
- ・ 図書館、体験学習施設共に街に顔を向けた配置としており、両施設へのアプローチも快適かつ最短の動線としている。地勢的特性を活かしている。
- ・ 動線の結節点でもある両施設の間で交流空間を確保し、にぎわいの演出、連続性、一体的利用に工夫がある。
- ・ 職員と利用者の空間、動線が明確に分離されており優れている。
- ・ 南側歩道橋からのアプローチ動線もあり、敷地内外の回遊性に優れている。
- ・ 外構計画、駐車場計画は利便性、快適性、安全面への配慮において特に優れた提案となっている。駐車場の臨時対応も優れている。

- ・ 積極的な屋上緑化や変化のある外観デザインなど周辺環境との調和に優れている。
- ・ 自然エネルギーの活用が提案されており優れている。

諸室計画

- ・ 無柱大空間、大きなガラス面によりフレキシビリティと開放的な空間を実現している。
- ・ 図書館・体験学習施設共に利便性に配慮された配置計画として望ましい。特に、児童開架スペースの配置は他のゾーンとの距離がある適切な関係となっていて望ましい。
- ・ 利用者優先の配置計画のため、荷搬の動線が長く、職員空間も快適性に欠ける。
- ・ 喫茶室を前面道路側に配置し、集客性と利便性を高めているのは望ましい。

建築仕様

- ・ 周辺環境との調和、親しみ、安全性を意識した色彩計画に工夫がある。
- ・ 図書館の床材は音の出やすさが懸念されるが、吸音材の使用など対策に配慮しており評価できる。また利用対象者や職員により床材が選定されており評価できる。
- ・ 仕様材料等に環境と健康に対する配慮が十分なされており評価できる。
- ・ サイン計画や施設計画においてユニバーサルデザインに関して十分配慮されている。

e. 施設計画（構造計画）

- ・ 長大スパンによる大空間の確保を評価した。
- ・ 安全性への配慮が優れている。

f. 施設計画（設備計画）

- ・ 自然エネルギー利用や省エネルギーに配慮した設備導入の提案があり、一定の効果が期待できる。
- ・ 更新性、メンテナンス性に配慮した具体的な提案がなされている。
- ・ 児童スペースの暖房設備に優れた提案がある。

g. 施設計画（閉架書庫計画）

- ・ 自動化書庫による効率化を高く評価した。

h. 備品計画

- ・ 将来性、安全性、快適性を考慮した書架計画が優れている。
- ・ 機能別の独立カウンターを配置し、カウンター背後の空間も十分に確保している。
- ・ 児童専用カウンターを設置したことは望ましい。
- ・ 環境や健康面に十分配慮している。

i. AV 機器整備計画

- ・ 先進的なシステム導入により利便性と効率性を高める提案であり、特に優れている。

- ・ 視聴空間が利用者のプライバシーに配慮されていない。

維持管理計画

a. 基本的な考え方

- ・ 第三者機関による診断結果に基づき合理化や削減の提案がなされている。
- ・ 室内環境の安全性を常時管理する提案がなされている。

b. 業務実施体制

- ・ 維持管理責任者に有効な資格保有者を配置する提案がなされている。

c. 建築物保守、備品保守管理業務

- ・ 保守点検の頻度が適切。
- ・ 室内環境の安全性に関する対策に独自性があり優れている。
- ・ 設計と維持管理の連携により省エネルギー、長寿命化、メンテナンスのしやすさに配慮した施設計画を行う視点がある。
- ・ 中期修繕計画を策定運用する提案を評価した。

d. 清掃業務

- ・ 光触媒ガラスの導入による窓清掃回数の効率化の提案があった。
- ・ 予防清掃の考えがあることを評価した。
- ・ 利用者の安全面を配慮した提案があり優れている。
- ・ 利用者に配慮した清掃時間の提案があった。

e. 警備業務

- ・ 安全面に配慮した施設計画の提案がなされている点を評価した。
- ・ 運営スタッフによる安全対策、緊急マニュアル作成の提案があることを評価した。

運営計画

a. 基本的な考え方

- ・ 利用者へのサービス意識、スタッフの充実の意識が高い。
- ・ レファレンスの重要性を十分認識している。

b. 業務実施体制

- ・ 有資格者、経験者を適切に配置しており高く評価できる。特に公立図書館経験者配置の意識が高い。
- ・ 会議に市職員の参加が明記されており、協働を意識している。
- ・ 指揮命令系統・業務分担が明確である。
- ・ 開館前、開館後の研修計画が優れている。
- ・ スタッフの長期安定雇用に資する提案があり優れている。

c. 図書館の特徴的サービス

- ・ 地域に密着した情報を IT 技術により具現化する提案があり評価した。
- ・ MARC に関する独自性の高いサービス提供が優れている。

d. 開館準備業務

- ・ 資料選定に対する視点が優れている。
- ・ 蔵書点検の時期、方法が優れている。
- ・ 図書館情報システム設計の開始時期について市と調整する期間が不足し

ていると思われる。

e. 広報活動

- ・ 利用者に分かりやすいホームページ作成の配慮が優れている。
- ・ 図書館情報システムとリンクしたホームページ機能は高く評価できるが、利用者自身が操作できるデータベースの内容において課題がある。
- ・ ホームページの効率的な管理に関する提案に独自性があり優れている。

f. 図書館情報システム

- ・ セキュリティやプライバシーに配慮したシステム計画となっており評価した。
- ・ IC タグと連動した効率化、市民サービスの向上を評価した。

g. サービスの総合計画

- ・ 多様な方法による利用者ニーズ把握の提案があり効果が期待できる。
- ・ 行事の企画は対象者別に工夫されており、具体性もあり高く評価できる。

h. 各種サービス

- ・ 市民に気持ちよく利用してもらうという視点を評価した。
- ・ 資格所有者や経験者が適切に配置されている。
- ・ 各サービスの配慮事項、提案内容が利用者の視点に基づいて提案されており、具体性もあり優れている。
- ・ 児童サービスにおいて人を重視する姿勢が優れている。
- ・ 資料選択に重点を置いている視点を評価した。
- ・ ヤングアダルトサービスに多様なメニュー提案があり優れている。
- ・ 学校図書館に対する支援メニューに独自性があり、特に優れている。
- ・ 病院サービスにおいて特徴的なサービス提案があった。

i. 資料管理

- ・ 運営企業の持つデータ等の資産とノウハウの裏付けがうかがえる。
- ・ 資料選択についての具体的な提案が無かった。
- ・ 日常の書架の整理・整頓の意識が高く具体的であり特に優れている。
- ・ IC タグによる効率的な蔵書管理が見込まれる。
- ・ 盗難防止に有効なシステム導入が提案されている。

j. 喫茶室業務

- ・ メニューに地域性、独自性、魅力がある。
- ・ 運営体制に独自性があり、評価できる。
- ・ 喫茶室位置、メニュー、料金などの工夫により売上を積極的に伸ばそうという意識が高い。

運営計画全体を通じて

全事業に対し、市の方針を踏まえたうえでの高い水準の提案が多い。特に公立図書館という意識が高く、運営企業の蓄積やノウハウが、市の求める方向で提案されている。

また、利用者の立場を重視した運営で、最新の機器を配置しているが、人に

よるサービスを重視している点が評価される。

事業計画

a. 事業の安定性及び事業実施の確実性

- ・ SPC にリスクを残さない提案。
- ・ 配当時期の工夫により事業安定性を図る提案を評価した。
- ・ 資本金や劣後融資が厚い。
- ・ 一定の収益性を確保されており、安定性を評価した。

b. リスクへの対応策

- ・ SPC の構成企業が債務不履行した場合の措置について明示されている。
- ・ リスク毎に具体的な対応策が明示されており高い効果が期待できる。

c. モニタリング

- ・ 第三者によるモニタリング実施もあり優れている。
- ・ 設計、建設、維持管理運営のそれぞれの段階について体制・指標を具体的に記述しており効果が期待できる。

付帯事業計画

- ・ 書籍販売に関する事業提案があり、利用者の利便性の向上に寄与すると評価できるが、公共図書館内での運営形態に課題がある。

提案の整合性

- ・ 提案書全体で高い一貫性が認められた。

第4グループ総括

市の提示した方針を十分に理解し尊重したうえで、運営重視、利用者の視点を重視する理念で提案書全体をまとめており、多くのサービス向上の提案を含めた点が高く評価できる。

先進技術の積極的導入による効率化とスタッフによるサービスの充実のバランスが良く、公共図書館での実績を踏まえた具体的な配慮があり優れている。市や市民との協働意識も高い。

特に施設面では、全体配置計画、諸室計画、動線計画など全ての面で優れていた。

代表企業、構成企業の総合力が遺憾なく発揮され、全体として高い水準であり、バランスの取れた提案であった。

第5グループ

事業の総合計画

- ・ 基本方針が市の提示した方針に適切に対応している。
- ・ 目標設定に市民とともに成長する視点があり事業意欲が感じられる。
- ・ 稲城らしさ、利用しやすさなどの視点により施設や運営において独自性のある提案としている。
- ・ マネジメント会社を代表企業とし、各業務担当構成員が配置されているが、各構成員間の連携についての意識が薄いと感じられた。

設計・建設計画

a. 基本的な考え方

- ・ 基本方針に“交流”を掲げ、図書館と体験学習施設との間に特徴的な空間が提案されている。

b. 業務実施体制

- ・ 業務執行体制は適切である。
- ・ 設計段階で市民意見を取り入れる組織づくりの提案があるが、実効性に課題がある。

c. 設計・建設業務計画

- ・ 建設工事、外構工事の工期が適切である。
- ・ 工事中の周辺環境への配慮、市民への情報開示などの配慮が優れている。

d. 施設計画（建築計画）

配置計画

- ・ 図書館の利用者空間を1層にまとめ、上下移動を無くすことでバリアフリーを実現。
- ・ 図書館と体験学習施設の間に屋外広場を設け、その空間を介して互いのアクティビティが感じられる配置は特徴的であり評価できる。ただ、囲われた空間で日常的に自発的な利用があるのかが課題。
- ・ 広場を中心に敷地内外の回遊性に工夫がある。特に南側歩道橋から屋上広場へのアプローチ動線もあり、高く評価した。
- ・ 職員と利用者の空間、動線が明確に分離されており優れている。
- ・ 一部地下駐車場を設け、駐車台数の確保、管理面や利用者の利便性向上に関して積極的に提案したことは評価できるが、運用面での工夫があまり見られないため、使い勝手が懸念された。
- ・ 屋外駐車場は安全面や自然環境への配慮がなされ優れている。

諸室計画

- ・ 天井高が高く、大きなガラス面によりフレキシビリティと開放的な空間を実現している。
- ・ 管理スペースと利用者スペースが明確に区分されており使い勝手がよい。
- ・ 視聴覚スペースが景観の良い北側に配置してあるのは、利用特性を考えると妥当とはいえない。

- ・ 児童開架スペースが一般開架スペースと分離されており好ましいが、分かりにくい。
- ・ 喫茶室と体験学習施設諸室が全て広場に面しており。開放的な設えとなっているのは好ましい。

建築仕様

- ・ 大きなガラス面とトップライトによる明るい室内環境と落ち着いた色の床面や備品により快適性に配慮している。
 - ・ 床材料は音への配慮がなされている。
 - ・ 仕様材料等に環境と健康に対する配慮が十分なされており評価できる。
 - ・ サイン計画や施設計画においてユニバーサルデザインに関して十分配慮されている。
- e. 施設計画（構造計画）
- ・ 柱の少ない大スパンによる空間の確保を評価した。柱形状は意匠的にも特徴がある。
- f. 施設計画（設備計画）
- ・ 良好な室内環境を確保するために自然エネルギーを積極的に活用する提案や省エネルギーに配慮した設備導入の提案があり、高い効果が期待できる。
 - ・ 更新性、メンテナンス性に配慮した具体的な提案がなされている。
- g. 施設計画（閉架書庫計画）
- ・ 自動化書庫による効率化を評価した。
- h. 備品計画
- ・ 低い書架による利用者への配慮、眺望への配慮に優れている。レイアウトも適切。書架間も要求水準より広い。
 - ・ 一部の配架方法に独自性があるが、当規模の図書館での有効性は感じられない。
 - ・ 機能別の独立カウンターを配置し、機能毎に対応した設えを工夫している。
 - ・ 児童開架スペースの閲覧席で、親子で楽しめる工夫があり望ましい。
 - ・ 環境や健康面に十分配慮している。
- i. AV 機器整備計画
- ・ 機器貸出による視聴としているが、映像視聴等の環境を考えると物足りない。
 - ・ 将来的な先進機器導入に期待する部分大きいですが、具体的な時期の見通しが無く評価できない。
 - ・ AV 資料について、先駆的なサービス提供の提案があり評価できる。

維持管理計画

- a. 基本的な考え方
- ・ LCC 最小化の方策として長寿命、高耐久材料の採用・高精度の長期修繕計画の立案の提案があることを評価した。

- b. 業務実施体制
 - ・ 維持管理体制にヘルプデスクが無い。
- c. 建築物保守、備品保守管理業務
 - ・ 点検・保守の頻度が適切。
 - ・ LCC 縮減、長寿命化を盛り込んだ施設計画により維持管理費、修繕費の縮減を図る提案があり評価した。
 - ・ 事業期間終盤に発生が予想される更新工事を容易にする施設計画とする提案があり評価した。
- d. 清掃業務
 - ・ 日常清掃が開館中の計画であり利用者にとって好ましくない。
- e. 警備業務
 - ・ 犯罪防止のための装置の提案があることを評価した。
 - ・ 閉館後の巡回監視が提案されており優れている。
 - ・ 開館時の運営スタッフによる事故や犯罪防止に係る取り組み提案がないことが残念であった。

運営計画

- a. 基本的な考え方
 - ・ 理念には優れた視点があるが、スタッフによる利用者へのサービス意識が薄い。
 - ・ デジタル環境の整備によるレファレンス機能の充実に重点が置かれている。
- b. 業務実施体制
 - ・ 市の図書館の組織について理解が薄く、分館の位置付けも適切ではない。
 - ・ ヘルプデスクと市職員との関係が不明確。
 - ・ 運営スタッフ全員が資格所有者又は経験者を人選すること、またその選定方法が具体的で適切である。ただし、一部資格の有効性については疑問がある。
 - ・ スタッフの安定雇用、インセンティブ付与に工夫があり優れている。
- c. 図書館の特徴的サービス
 - ・ 市民参加の選書に特徴的な提案があるが、事業そのもののあり方に疑問がある。
 - ・ 書誌データベースについて独自の提案があり、優れている。
- d. 開館準備業務
 - ・ 早い段階から一部職員の採用を行う提案を評価した。
 - ・ 図書館情報システム設計の開始時期について市と調整する期間が不足していると思われる。
- e. 広報活動
 - ・ 多様なコンテンツの提案がある。利用者のわかりやすさにも配慮がある。
- f. 図書館情報システム
 - ・ ホームページによるレファレンスサービスにおいて運営企業のサポート

機能があり優れている。

- ・ セキュリティやプライバシーに配慮したシステム計画となっており評価した。
- ・ 市の職員への研修・指導方法が具体性に欠ける。

g. サービスの総合計画

- ・ 利用者ニーズの把握方法に多様性がなく、ニーズの反映方法などにおいて具体性に欠ける。
- ・ 特徴的な行事メニューの提案はあるが、対象別の企画の多様性が無い。

h. 各種サービス

- ・ サービスのセルフサービス化や市民参加によるサービス充実を重視する視点はあるが、スタッフが基本的なサービスを提供する意識と工夫に欠ける。
- ・ 利便性の高い場所への返却ボックスの設置の提案が優れている。
- ・ リクエスト方法に多様性があり、評価できる。
- ・ 外国人サービスや障害者サービスにおいて適切なスタッフ配置の提案があり優れている。
- ・ 病院サービスにおいて特徴的なサービスを提案しているが、サービス対象者が適切ではない。

i. 資料管理

- ・ 運営企業の持つデータ等の資産とノウハウの裏付けがうかがえる。
- ・ 資料選択についての具体的な提案が無かった。
- ・ 日常の書架の整理・整頓の意識が高く適切。
- ・ 盗難防止に有効なシステム導入が提案されている。

j. 喫茶室業務

- ・ 食事サービスの提供時間は長く評価できるが、メニューに多様性や工夫がない。効率性を重視。

運営計画全体を通じて

一部に運営企業の得意分野を前面に出した優れた提案があった。

デジタルライブラリー化を推進することで効率化とサービスの向上を図ることに重点が置かれていたが、さまざまな人が利用する地域の図書館で求められているスタッフによるぬくもりのある運営の視点が欲しかった。スタッフ配置については充実しているだけに残念だった。

また、デジタル化を重視する一方、最新技術の導入に対しては将来対応とするなど慎重なところもあった。

事業計画

a. 事業の安定性及び事業実施の確実性

- ・ SPC にリスクを残さない提案。
- ・ 資金管理方法に優れた提案があった。

b. リスクへの対応策

- ・ リスク顕在化の事前予防に関する体制、マネジメントの提案があり評価できる。
- ・ リスク毎の具体的な対応策が妥当で効果が期待できる。

c. モニタリング

- ・ モニタリングに関する監査機関を設け品質管理を行う提案であり一定の効果が期待できる。
- ・ モニタリングの評価方法等の記述が無く具体性に欠ける。

付帯事業計画

- ・ 物販や図書館運営企業独自の事業の提案があり、市民サービスの向上が評価できる。
- ・ 各々の事業規模が小さく、初期投資も少ないことから柔軟に対応できると判断できる。

提案の整合性

- ・ 提案書全体で一貫性が認められた。

第5グループ総括

優れた理念は示されているが、それが具体的な力強い提案に結びついていなく、全体を通して提案の密度が薄く感じられた。豊富な実績・経験に基づき一定のサービス提供水準は見込まれるものの、市の提示した方針への理解とその取り組みにおいて違和感がある点があった。

施設面では、“交流”をコンセプトとする特徴的な広場空間を中心にアクセシビリティ、回遊性、ゾーニングの適切性など多くの優れた点があった。

3.3.4 価格審査

価格評価で対象とする価格は、入札価格に消費税を加えたものを現在価値換算したものとし、これを提案価格と呼ぶものとする。現在価値への換算は、平成 15 年度を基準とし（割引開始は平成 16 年度）、割引率は 4%を用いるものとする。

各応募者の価格評価の得点は、各応募者の提案価格に基づいて次式により求める。

$$P_{Ci} \begin{cases} = 100 - \frac{C_i - C_{\min}}{\alpha_1} & (C_E \leq C_{\min} \leq C_i \text{のとき}) \\ = 100 - \frac{C_i - C_E}{\alpha_1} - \frac{C_E - C_{\min}}{\alpha_2} & (C_{\min} < C_E < C_i \text{のとき}) \\ = 100 - \frac{C_i - C_{\min}}{\alpha_2} & (C_{\min} \leq C_i \leq C_E \text{のとき}) \end{cases}$$

ここで、 $\alpha_1 = 20$, $\alpha_2 = 60$, $C_i \leq \bar{C}$

P_{Ci} : 応募者 i の価格評価の得点

C_i : 応募者 i の提案価格（百万円）

C_{\min} : 応募者の提案価格のうち最も低い提案価格（百万円）

C_E : VFM が 12%発生する場合の入札価格を現在価値換算した額（百万円）
= 3,487.1 百万円

\bar{C} : VFM が 7%発生する場合の入札価格を現在価値換算した額（百万円）
= 3,746.6 百万円

α_1 : 1点あたりの価格（ $C_E \leq C_i$ のとき）（百万円）

α_2 : 1点あたりの価格（ $C_i < C_E$ のとき）（百万円）

表 3-6 価格審査結果

項目	配点	第1グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ
入札価格	-	3,892,233,000	3,963,788,494	4,496,418,419	4,297,173,508
提案価格 (割引換算後、価格評価対象)	-	2,986,995,319	2,942,198,925	3,444,613,704	3,294,502,728
価格評価の得点	100.00	99.25	100.00	91.63	94.13

3.3.5 総合評価

以上の結果、本入札に参加した応募者のうち、内容審査 の得点と価格評価の得点を合計した総合評価の得点が最も高かった第1グループ(得点176.30点)の提案を優秀提案とした。

表 3-7 総合評価結果(再掲)

項 目	配点	第1グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ	備 考
内容審査 の得点合計	100.00	77.05	72.60	77.70	53.15	内容審査 の詳細は 3.3.3を参照
価格評価 の得点	100.00	99.25	100.00	91.63	94.13	価格評価の詳細は 3.3.4を参照
総合評価の得点(+)	200.00	176.30	172.60	169.33	147.28	
順 位		1	2	3	4	